

2024年度一般選抜・前期日程「国語」——出題意図

第1問（現代文・評論）

問題本文：吉見俊哉『「文系学部廃止」の衝撃』（2016.2、集英社新書）の「終章 普遍性・有用性・遊戯性」からの出題。

- 問1 標準的な漢字の知識を問う。語彙力と共に、文脈を適切に理解できているかも問う問題を含む。
- 問2 指示語を適切に把握できるか、接続詞などを鍵として対比的な内容理解ができているかを問う。前段落中の言葉を用いて要約する形で解答する。
- 問3 論理展開を適切に追う力を問う。「同様」とされる「二者」とは何か、そのすぐ近辺ではなくより広範囲を読解し、その相似性を言い当てている一文を求める。
- 問4 語彙力と文脈理解力の双方を問う。文意をおさえて同一段落から「遍歴と越境の経験」の内容を示す語を求める。
- 問5 漢文訓読体の理解力と共に、語彙に関わる力を問う。
- (1) 対の意味を持つ漢字を用いて四字熟語を構成できるかどうかを問う。
  - (2) 漢文の基本的な表現を理解できるか、ことわざの意味に関する知識と共に問う。
- 問6 傍線部に関わる性格を的確におさえているか、本文抽出の形によって問う。
- 問7 本文全体の理解を踏まえ、多用される表現やキーワードを自身の言葉で説明できるか。読解力ならびに共通テストでは問えない記述力を共に問う。

第2問（現代文・小説）

問題本文：加藤幸子「鳥屋敷」（1989.5『波』初出、『主人公のいない場所』中の一編）の全文出題。

- 問1 三代にわたる物語の展開を整理する問い。全体を概観し、以降の問題の導入とする。
- 問2 二度記された同じ願望が持つ背景の違いとその内実を、自身の言葉で説明する問い。読解力と共に、共通テストでは問えない記述力を問う。
- 問3 末尾の事件に至るまでの登場人物の言動から、作品の意図と人物の心情を捉える。
- (1) 文脈のコントラストを踏まえ、作中から伏線を見つけ出す。
  - (2) 人物の言動の意味について、作品全体をも踏まえた理解力を問う。
- 問4 小説ならではの表現のあり方の理解を問う。
- (1) 亡くなっている人物達の特異な描き方について、類似する箇所を抽出する。
  - (2) 簡潔に記された表現から、人間関係や感情をめぐる的確な把握と説明を求める。小説独自の表現への理解力とそれを多少抽象化して説明する記述力の双方を問う。
- 問5 作品全体にわたるまとめの問題。物語世界の中心的内容とその描き方の特質が的確に把握されているかどうかを問う。